

JR東海労ニュース

一方的な休日出勤反対！

闘争シリーズ No.11

No. 759 2005年11月30日

JR東海労働組合

ユニオン本部よ！一度でいいから、一方的休日出勤を解消しない会社を弾劾したらどうか！「海労を弾劾する」前に

ユニオン本部は、ありがたいことに「海労スト通告」という大見出しの組織情報（No, 412）を発行した。ユニオンからすれば「海労」など取るに足らなかったのではないか。それがなんと「独善的かつ『反社会的』行為を、JR東海ユニオンは弾劾する。」との表明である。「弾劾する」という言葉は、過激派の愛用するものでなかったの？まあ、恐れ入る。でも、わがJR東海労を弾劾する前に会社経営陣を弾劾するのが労働組合としての役割ではないの？「休日出勤を早期に解消するスタンスである」という回答を1年前から言い続けてきても、なおも解消する目途さえ示さず、あまつさえ休日出勤に本人の同意なんてまったく必要ないと言い切る会社に抗議の一言さえ言わないのか！現在員が基準人員より下回る現実を放置していいのか！ますます要員は減らされる。

ユニオン本部の問いにまじめに答えて提言する！「36協定を破棄して会社に一方的な休日出勤をやめるように迫ったらどうか！」と

一方的な休日出勤ができるのはユニオンと会社で締結している36協定が根拠であると会社は述べている。一方的な休日出勤を希望という名でやらされ続けているユニオン組合員の悲鳴が聞こえないのか！臨時列車の増発には、要員が必要なのだ！いつまでも確保しない会社が問題。その会社をかばうユニオン本部が問題。なにやら、設計偽造と同じ構図！？

ユニオン本部よ！鉄道労働者の社会的使命は、安全第一ではないのか？稼ぐが第一か！

